

会報 6月号



湖歩

2013

第19号

野洲市北野1-13-10

鈴木マンション

1F

TEL&FAX

077-567-6158

健康課

ウォーキング協会

……過去の歴史を大切に、そして新しい組織づくりを……

NPO 法人設立総会開催さる。

会長 志村 里士

汗ばむ陽気の「アサザ」淡海の3階で5月26日、特定非営利活動法人滋賀県ウォーキング協会の設立総会を開催しました。

定刻の午後2時から司会の小島達雄委員から開会が告げられ、18名の委員うち仮名(内委任状提33名)の出席で総会が成立していることを確認。

議長には池上副会長が選任され、さつきく理事に入りました。

志村会長の挨拶の後、横井俊和委員から第1号議案…NPO認証申請

の件、第2号議案…NPO法に該当することの確認が提案されました。

審議の結果、採択。

第3号議案…設立当初の役員選

出について、池上氏から提案、審議の結果、採択。

第4号議案…定款案を平崎委員

から提案され、審議した結果、採択

されました。

第5号から第10号議案までを池

上氏が提案、設立当初の財産目録、

設立初年度、翌年度の事業計画、活

動予算書、事業所の所在地、設立代

表者の選任、議事録署名人の選任に

ついて審議し、採択されました。

最後に久保副会長が閉会の挨拶をし総会は終了しました。

ウォーキングの活動は、健康、観

光、環境、教育など基本的に社会貢

献を伴うものであり、20周年を数え

た当協会が、さらに社会に貢献して

いけるように努力を重ねてまいりた

いと念じています。

また、この間、短期間のうちにNPO

法人申請のため準備をしていただ

た設立準備委員の小島氏、西垣氏、

平崎氏、馬場氏、横井俊氏、池上氏

に対し、

無上をお借りして

感謝申し上げます。

湖歩の原則

湖歩は、次のような原則で掲載を決めています。ご理解下さい。

- ☆ 1面は協会の重要案件等の記事
 - ☆ 行事記事は原則実施日順に掲載
 - ☆ 特別の寄稿記事等は4頁に掲載
- で紙面づくりを行っています。更にご意見が有れば提言下さい。

琵琶川～雨模様まで26*

琵琶湖一周健康ウォーキング⑫

八幡蒲生支部 木村 千江子

3月3日(日)最終12回琵琶湖一周健康ウォーキングが行われました。

風が冷たい寒い朝、JR能登川駅に

集まった参加者から「風が冷たく寒

い」と口々に話されていた。

志村会長の挨拶に続き小島理事からコース説明があり、1班2班と別れて出発した。

能登川水車カヌーランドでトイレ

休憩と「フイチ・マリン」のスタンプ

を押し水車橋公園に行くと、また

柳川園地まで1時間かかると云われた。琵琶湖「近づく」にしたがって風が

冷たく当たり痛いと思いつつながら

漸く昼食場所の

柳川園地に着いた。

風が強いたので早く

昼食を済ませた。多

景公園に向かって

進むのに琵琶湖から

の風がきついし冷たく痛く湖面は湖

岸にうねりが打ち寄せていた。



多景島公園に、漸く着いた。長い道のりを感じた。目指す福満公園は後7*と云われた。ゴールにだんだん近づくと足も軽やかに進んで行く。漸く「ゴールの福満公園に着いた。終わった完歩出来た。」琵琶湖一周健康ウォーキング②「無事終わったのも大勢のウォーカと一緒に歩いたから歩けた。琵琶湖一周健康ウォーキングの思い出は台風で暴風雨が強まり大変な日になった。12月歩けない日瀬田駅から堅田駅まで歩いたこと、終了も終り、家路に就くため「完歩証」「記念バッジ」を持って駅に向かった。

■山シーズ④ 本郷特別
曼陀羅山へ
 湖西支部 荒川 義一

3月24日、出発式の後、80名の参加者が堅田駅を9時30分に出発。駅前の北園街道を直進し仰木通を越えて、のどかな田園地帯を歩く黄色

の菜の花畑が春を感じさせてくれる。関電変電所の前に出る。

新興住宅を抜けて真野谷口町から家田町を過ぎると、左手に湖西ハイパス真野インターが見え視界が明けてくる。小一時間歩いたところで最初の休憩地の普門神社に到着。

一息ついて曼陀羅山に向かう。ここからが里山ウォークの本番。

坂道が続き、汗ばんできた。ウォーカ



の声もだんだん小さくなる。途中の金毘羅宮には10時50分

に到着。さらに40分程里山を上ったり下ったり、奥の里山リニアール

事業により森林が整備され木の伐採が進み以前より見通しがよくな

った。眼下にコースタウンの住宅が広がり、遠く仰木の街並みが見渡せた。

前方には比良山もくっきり見える。前回の下見の時に出会ったおはあちゃんに、またお出会いた。

曼陀羅山は地域の人の散歩道になつていて必ず誰かに出会う。

大塚山古墳や石室を覗いて、急な階

段を慎重に降り、緑町の住宅地に出た。今歩いてきた道を見上げながら

歩を進め11時40分に聖食会場の「まんだら公園」に着く。12時15分まで休憩。

美味しい昼ご飯を食べ元氣回復。里からはコースタウンを通り小野一族の里を訪ねる。遣隋使(アンスズイシ)として有名な小野妹子を祀った神社

に向かう。途中、白木蓮がひと際鮮やかに目に映った。小高い唐白山古墳の上に妹子神社がある。

ここからの眺めは最高だった。目の前に琵琶湖が広がり、えりが見える。沖島や対岸の守山、近江八幡など、くっきり見渡せた。

「今日来てよかったな。こんなえとこあるなんて今まで知らなかったわ。」の声が聞こえてきた。

絶景をバックに記念撮影。次は、三蹟の一人である小野道風神社。最後に林間を通り抜け石神古墳を覗いて

菓子、餅の祖神である小野神社と漢学者、歌人である小野篁神社へ。小野小町の供養塔もあった。

帰りは天台真宗の上品寺や女人守

段を慎重に降り、緑町の住宅地に出た。今歩いてきた道を見上げながら

歩を進め11時40分に聖食会場の「まんだら公園」に着く。12時15分まで休憩。

美味しい昼ご飯を食べ元氣回復。里からはコースタウンを通り小野一族の里を訪ねる。遣隋使(アンスズイシ)として有名な小野妹子を祀った神社

の御岳神社の前を通つて14時に無事にJR和邇駅に到着。

今回の里山ウォークはアップダウンの山道あり、また、里山以外に、小野4神社を巡り古代の人々に思いを馳せたりと変化に富んだコースになった。最初の下見の頃は雪だったが本番は天気に恵まれ

春の訪れを肌で感じる事ができた。

春の訪れを肌で

川能登川駅から彦根駅21*。

琵琶湖一周健康ウォーキング①

……開会に寄せて……

大津市 中津 操

4月7日、今年も「琵琶湖一周」が始まった。「2013」は、JR能登川駅からスタート。

1年間で計11回に分けて琵琶湖の周約240*を歩く。このイベントのいいところは、一人で参加してもコース中に挨拶を交わす人の数が増えること。まわりとの適度な距離感を保ちながらも、ひとりでない安心感が良い。また、何度同じコースを

歩いてても季節や天候、気分によっても景色の見え方は異なっていて、いつも新しい発見があるのが楽しい。今回は雨と強風の中のスタートとなった。

その風のおかげで彦根駅へ向けて街中へ右折する手前の湖岸では琵琶湖に立ち荒々しい白波を真横に眺め満開の桜並木の下を歩くという印象的なワンシーンもあった。

そして、私がいちばん心待ちにしているのは第5回の永原から近江津コースである。海津は桜の季節もいいが夏も素晴らしい「シーノーツ」のコースを歩いた際、皆で何度も「わあ…きれいな顔を見合わせた。今年はシリーズ中、どんな絶景に出会えるのだろうか?」そして一緒に歓声を上げて、それだけの仲間が増えるだろうかととても楽しみにしている。

(4月例会)

石部から希望が丘文化公園へ

湖南支部 池上 幸男

当日4月14日は朝から好天気

に恵まれて気持ちの良いスタートとなりました。JR石部駅を出発して平成23年4月1日に新しく開通したバイパス国道1号線を渡り菩提寺地先を経て岩谷フンドからから希望が丘文化公園に通じる林道に入りました。

この林道は、山道の傍を流れる小川のせせらぎの音と鳥や虫の鳴き声しか聞こえない静かなところで周りの樹々の緑と重なり合って、本心に自然が感じられ、暫くの間清々しい気分を味わう事が出来ました。



美しい日本の 案内 歩きたくなる道 (500道マップガイド)

この度 みだし名著が出版されました。内容はカラフルで美しい仕上がりで各府県が推奨する見所スポットや名所旧跡が「マップ」と共に網羅されています。当協会では、この「近畿版」をウ

ォーカの必携として推奨し、時価1470円を協会の負担により1000円で、購入募集をしています。希望の会員は次にお申込みをして下さい。

申込期限・・・6月末まで

協会事務所 Tel&FAX

077-587-6159

見本は協会事務所に有り

この林道を抜けると希望が丘文化公園(東ゲートの近所)に入り、広々とした芝生が張り巡られた「桜の森」で、昼食となったが桜は、既に散り始めおり充分に観桜は楽しめなかった。

昼食後は、公園西ゲートに向かって約3.5km、前半は左右多くの樹木に囲まれた自転車道から周りを観察しながら、後半はアスファルトや家族で賑わう芝生の多目的広場等の施設を眺めながら足早に、西ゲート近くのスポーツ会館まで進み、ここで休憩後、最後の力を振り絞り登り降りのでかい急な坂道(徒歩専用道)の野洲方面に抜ける道を通じてJR野洲駅でフェニックスした。本日参加者87名でした。

…久しぶりに参加して…

大津なぎさウォーク⑩

湖西支部 片木 悦子

4月16日JR大津駅前広場で志村会長大津駅長の挨拶の後ストレッチで身体をほぐし午前10時にスタート。足どりも軽く?鳩の浜に向かってサクサクと歩を進め「常夜灯」前では、その伝

説や由来を聞き、一路、次のスポット

「法伝寺」に到着。神妙に法話を聞いているつもりが、ただよってきた観音様の匂いに酔ってお腹が「グ」…不謹慎な私め!! 近くの石坐神社で心を浄める。待望の昼食地「膳所城跡公園」へ真っ黒い先程の蒲焼の匂いをブフッして、おにぎりを頬張る。4月中旬のわりに夏日に近い暑さでも琵琶湖の風が心地よく楽しい一時でした。さア、出発石山寺を自指してあちこちで遅咲きの桜を愛で仲間との話が弾み楽しくそして暑い日でした。お世話になったスタッフの皆様有難う御座いました。またの日をお過ごし、お楽しみよう

楽しく 初心者教室の開催 実績で

今年の「教室」は、去る4月28日午前10時快晴のなか受講者5名で行いました。指導者会からは10名が項目毎に分担して「座学」「歩き方」「歩幅の設定」「準備体操」「靴紐の結び方」等と受講しました。皆で昼食後、仲間意識が直ぐに、一つになり「桜生」まで快歩、笑歩し15時に終了しました。これをご縁に愛歩を

虎御前城跡を訪ねて (シリーズ第2弾!!)

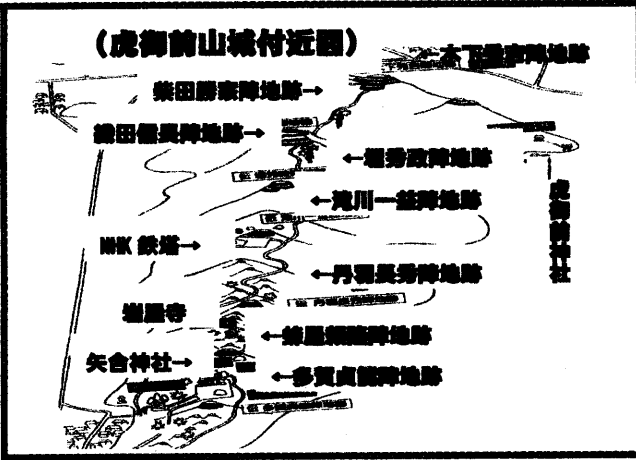
海西支部 平崎 雄磨

数満寺に詳しい書きましましたところ
次はここかとお話もあり、今回は
虎御前城跡を歩くことにしました。
付け城と言つのを存在してしま
か?これは敵の強固な城を攻める
ときにその城の直ぐそばに城を築
いて、いつか攻め挙げようとい
めの城です。虎御前山城は1570年
(元龜元年)織田信長は朝倉方に
いてしまった、浅井長政を討つた
長政の立て籠もる小谷城を見渡すこ
との出来る虎御前山に替として築か
れたものです。其処には中世の山城
に見られる土塁、堀切、堅堀などが
残っておりウォーキングを楽しみ
ながら昔の戦いを憶ふことが出来
ます。
JR虎姫を下車して矢合神社を目
指して田川の川べりを虎姫結婚の相
手と言われるせせらぎ長者の石碑の
横を歩いて歩き始めます。虎御前山
城は信長配下の諸将がそれぞれ陣を

構えたところ、山頂からの陣は虎御前
山の尾根に沿って続いています。
神社の裏の最初にある多賀貝能の
陣跡に続く蜂屋頼隆の陣跡は少し小
高いところがあり、なるほどこれが
陣跡だと分ると思います。然しなが
ら、その次の丹羽長秀の陣跡は少し
キャン場所となり昔を憶ふようすが
ありませんが、ここを過ぎるとや
っと少し城跡に入ったように感じる
山道です。テレポート塔の隣に滝川一益
の陣跡が見えてきます。ここは古墳
の頂上を削平して曲輪としたもの
で、可なり簡単なものです。
本格的な山道を歩くと次の堀秀正
の陣跡は三方所の曲輪が明確に残っ
ており櫓台の跡と思われる高まりも
認められます。次に続く織田信長陣
跡との間には大掛かり堅堀がずっと
下まで掘られています。この尾根筋
の最高のところには織田信長の陣跡

があり中央部の曲輪は周囲を高い切
岸で囲まれており、今は階段で
上げられるようになっていますが築城
された当時は、さぞや堅固であったと
想像できます。それぞれの陣跡には石
碑で分るよう表示されていますが、
特に此処では本陣と云う事もあり立
派な伝織田信長本陣跡と云う石碑が
立っています。

最近はお城ブームのお陰で地元
の方よりかなり伐採がされているの
で此処からは周囲が見渡せますので



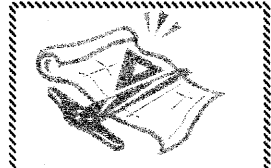
丁度お弁当タイムに良いと思います。
これから更に、敵陣である小谷城
方向に向かい歩いてゆくと、
此処からは敵との遭遇する確率も高
いたためか立派な陣立てが見られます。
これが羽柴藤吉郎(後の豊臣秀吉)
の陣跡で、辺りには三角形の陣跡
トで小高い中心部の櫓台を囲んで
曲輪が広がり周囲は土塁で厳重に固
められています。小谷城側には堀も見
受けられます。このあたりからは敵陣
の小谷城が望まれます。此処で戦い
があつた時代には樹木すべて切り払
われて敵陣は手に取るように観測さ
れた訳ですから、ひよっとしたらその
日の食事の献立も分つたかも。そし
て更にその先に柴田勝家の陣跡が続
き此処も土塁に囲まれています。分り
らかに古墳を活用されたことが分り
ます。東にある雲雀山砦(この陣が
信長側の最前線であつたわけです。
従つて前は崖であり、この急な崖を
降りざるを得ませんが下りたところ
が河毛駅に至る田道です。歩いて40
分河毛駅に着きます。1吉野城

彦根駅から長浜駅 15*

琵琶湖一周健康ウォーキング②

.....快晴絶好のウォーキング日和.....

湖西支部 横井 俊和



5月5日(日)の1回目第2回琵琶湖一周健康ウォーキングが開催された。

曇りつけない青空の下、30名の参加者が彦根駅西側にあふれんばかりに集結し午前9時30分から出発式、10時にA班(時速約6.5km/h)約100名、B班(時速約5.5km/h)約200名の順に分かれてスタート。スタート直後、彦根市役所の前を通りしばらく歩いた後、国彦彦根城内に入るが5月「フルテン」ウィーク後半の連休3日目とあって観光客の出足も早い様に見つけられた。入場後「彦根観光協会」に立ち寄り前回は押印出来なかった参加者の「マイチマップ」のスタンプの押印とトイレ休憩となる。

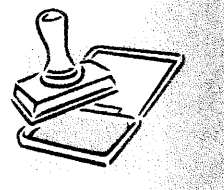
4月7日(日)の1回目琵琶湖一周健康ウォーキングした時は桜が満開で

あつたことが昨日の如く驟る。松原橋を通過して彦根港に到着、列結トイレ休憩を行う。

岸壁では多くの太公望が鮎釣りに興じていた。「かんぼの宿彦根」「三ツシガン州立大学」の前を通過後湖岸の砂浜をウォークしたが琵琶湖は、至って穏やかな湖面で鏡のようであった。先月頃までは「わが世の春」と言わんばかりに悠然と泳いでいた「鴨君達」もシバリア入帰ったのか、ほとんど見かけなかった。又対岸の比良山系の山並みも春霞のためか、ぼんやりとした眺望が出来ない状況で残念至極であった。

米原市に入つて入江橋付近から湖周道路の専用歩道をウォークしたが「フルテン」ウィークの真ただ中、通行する自動車には多くの他県ナンバーが、見受けられた。改めて

琵琶湖の偉大性、人気の根強さを痛感した。「近江の国」にはSWAも再認識しておへ必要がある。
12時前「本日」の1箇所目のスタンプポイントであり、昼食、休憩する「道の駅近江母の郷」に到着。



道の駅は多くの観光客で混雑していた。「近江の国」の「フルテン」ウィークのスタンプの押印今回は、多数の参加者を考慮して「バスポート」の押印も併せておこなった。
12時35分頃「道の駅近江母の郷」をスタート。程なくしてSWAの会員(橋田さん)が関係する「近江の館」に入到着、特別休憩となる。

事前に本日の「琵琶湖」を連絡してあったので、「近江の館」さんの厚意で駐車場に特別ポイントを設置して頂き、なんの混乱もなくお茶等の接待を受けたことは大変有り難かった。特に「黒豆の茶」は皆さんに大好評であった。休憩後湖周道路の専用歩道を歩くが、この辺りから前方

に「山本山」右前方に「伊吹山」がかすかに見えるようになった。

続いて右手に長浜ドーム、長浜バヤオ大学を見ながら歩いていると暫くして田村の大仏が見えたが大仏の右手にカラス君がとまっていたのが大変「モーラス」であった。「モーラス」君が当たると「この辺りから左前方に長浜城が見え隠れするので、あの付近が本日の「フル」地点である旨説明すると、参加者の足取りは俄然軽快となった。人間の心理とは大変微妙なものである。

15時「近江」の「フル」地点で箇所目のスタンプポイントである「長浜鉄道スクエア」に到着。
スタンプ押印後「Vカード」が参加記念カードを感謝を込めて手渡したが参加者全員が大変満足そうな表情であったことが印象的であった。スタンプ一回以降も気持ちよく、安全に歩いて頂けたための「一歩の下見における入念なチェックを決定した」ところである

「これからも頑張るぞ!!」
「参ける!!」と感動...

清水山城跡と熊野本遺跡を訪ねて

地元ボランティアの皆さんと共に、特有の感動と想い出の日です……

湖西支部 桑田 剛吉

5月19日(日)9時30分47名のウォーカが近江今津駅に集合した。午前中10%。午後には70%の降水確率の中、なんとか昼食までは持ちこたえて欲しいと願いつつ湖周道路を南下。あまり通ることがないであろう浜園地の木製遊歩道を通り針江浜から田園地帯を経て森神社に至る。ここでは、滋賀県下でもっとも番目の幹の太さを誇るタブの木を仰ぎ見ると、今でも朽ち落ちたままになりながらも生き続けている御神木に感心しながら一路新旭球場を目指して歩行約8.5の道のり。

新旭球場隣のテニスコート場でトイレ休憩後、清水山城築クワンプカードボランティアの皆さんと合流して、

登山開始11時30分。大門、大手



道の跡を登ること40分、山城中心部(主郭)手前の広場で「雨の降る前に食事を」との判断が大正解、食事がすむ頃に降りだした雨に、せかされて出発を早めることとなった。

清水山城築クワンプの皆さんに美味しい鶴のお礼を告げて帰路へ下山についた。途中、熊野本古墳群の内の墳丘墓に立ち寄り禅林寺を経てテニスコート場のトイレに立ち寄り、新旭駅へ向かい、午後2時少し前に無事ゴール。持ちこたえてくれた雨も降りだすと止むことなく本格的な雨となり降水確率の正確さと、今回参加人数の読みの甘さを痛感したウォークでした。これに懲りることなく、

湖西地区のウォークに多数の参加をお願いします。

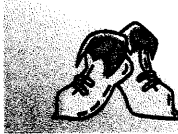
楽しいウォーキング…

…教壇に参加して



(粟米市) 鹿戸 由利子

去る4月28日に野洲市、滋賀県ウォーキング事務所と、その周辺で行われたウォーキング教室に参加しました。ウォーキングを始めてから何も考えることなく自分なりに楽しく無理しないでと心がけて自己流に歩いていました



が靴の紐が途中でほどけたりして、何とかならないかと考えていました。また「こんな靴がいいのかしら」とウォーキングについて聞いてみたことが増えてきました。

初心者教室では、それらのことも含めて丁寧にわかりやすく、時にはユーモアもありませながら楽しい説明で、改めてウォーキングの大切さや、三大機能のことなど(最も頼れる高貴な移動手段)目からうろたへ心に残りました。

また、ウォーキングの実技では緊張しながらも笑いながら楽しく皆さんに見て頂き、いかに正しい姿勢や足の運び方をするか美しく楽しく歩けるかを知ることもでき、このような機会に参加できて本当に良かったと思います。新しい出会いに感謝しウォーキングを通じて、これから経験できる様々なことにワクワクしながら楽しみにしています。

「指導ありがとうございました。」

編集後記

今、私たちが一番の案件は、人も街も歩いて元気に街おこしのキヤッチアップを進められている。「おこし温泉・びわ湖ハラムマW」成功である。当協会の「正念場」と言ってもいいと思います。容易でない道のりと思われます。然し「80歳でエクスレスト」登頂に成功された三浦雄一郎さんは、出来ない理由は考えざるな。どうしたら出来るか考えよとのあの挑戦があつたと云われています。私たちがこの気概で頑張り抜きましょう。「編集」の「協力ありがとう」久保